



離島の地産地消・地産他消推進プロジェクト  
概要説明

平成28年3月16日

鹿児島県  島村

# 村の概要

# 三島村のご紹介

- 三島村は、鹿児島市から南西へ100～150 kmの洋上に東西に点在
- 島へのアクセスは、週3便の村営フェリーと鹿児島空港と硫黄島を結ぶセスナ機のみ（チャーター運航）
- 商店は、各島に1軒（黒島には2軒）。民宿（村営）は3島あわせて14軒
- 島にはガソリンスタンド、飲食店なし



竹島  
周囲：12.8km  
面積：4.20km<sup>2</sup>  
人口：79人（H27.11.1現在）

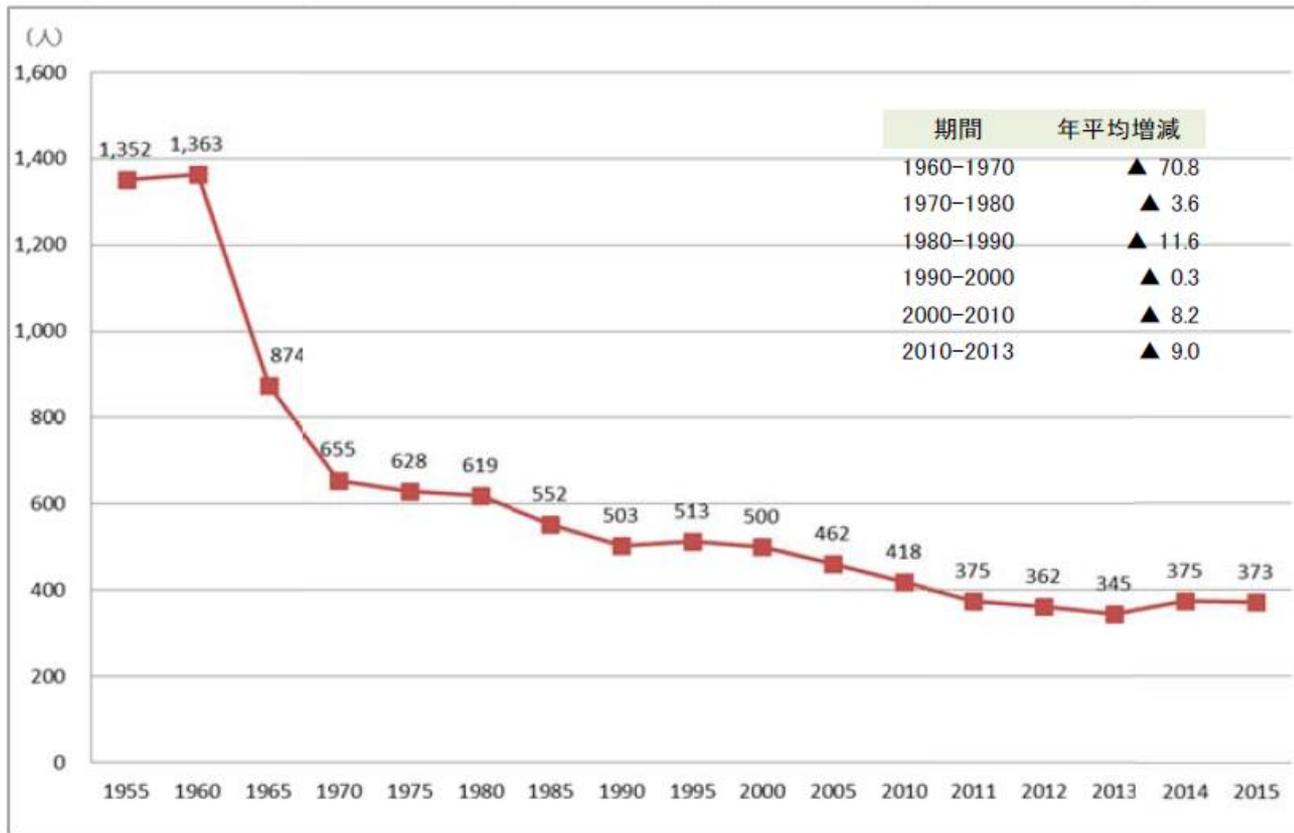


硫黄島  
周囲：19.1km  
面積：11.74km<sup>2</sup>  
人口：128人（H27.11.1現在）



黒島  
周囲：20.1km  
面積：15.51km<sup>2</sup>  
人口：185人（H27.11.1現在）

## ■ 過疎化



資料 総務省「国勢調査」、2011年から2015年は三島村「住民基本台帳」(各年5月1日現在)

三島村には高等学校がないため、中学校卒業と同時に毎年10人前後の子どもたちが村外の高等学校に進学するために村を出ていきますが、卒業後に村に帰るものはなく、人口は減少傾向にあります。積極的な移住・定住施策により、2013年より人口は増加傾向にあります。

# 定住促進の取り組み

定住者向けの住宅を整備しています。



新築住宅

移住者には、牛を1頭プレゼント！

鹿児島県 三島村



## 定住促進対策助成金制度

- ・ 三島村で農林水産業等の自立自営の目的をもって移住し、村の活性化に寄与する **55歳以下**の者
- ・ 助成金の額（支給期間は3年）
  - ① 1人世帯 月額 85,000円
  - ② 夫婦世帯 月額100,000円
  - ③ 夫婦子供一人 120,000円（子1人目20,000円加算）
  - ④ 夫婦子供二人 130,000円（子2人目10,000円加算）  
以降子供が増すごとに10,000円／人加算
- ・ 報償 子牛 1頭または現金50万円（本人選択）
- ・ 引越費用 100,000円以内

# 村のトピック

- 平成27年9月4日、硫黄島、竹島、黒島の3島からなる「三島村」一帯を対象とした「三島村・鬼界カルデラジオパーク」が日本ジオパークに認定
- 「世界一小さいジオパーク認定」



第3種郵便物認可

## 地域の宝 日本ジオパークに

### 三島村・鬼界カルデラ認定

#### 県内3カ所目職員ら「やった」

貴重な地質や地形を認定する「日本ジオパーク」に4日、三島村の「三島村・鬼界カルデラ」エリアが認定された。県内では霧島、桜島・錦江湾の両エリアに続く3カ所目。地元では「地域の宝が認められた」と喜びの声が上がった。

4日夕、日本ジオパーク委員会（JGC）から大山辰夫村長に電話連絡が入った。その日のTシャツを着た職員らが「やった」などと歓声を上げた。

大山村長は取材に対し「小さな三島村だが、島民の協力もあって認定された。本当にうれしい」と喜んだ。本並は「うれし」と喜んだ。

**ジオパーク**  
ジオは地球や大地の意味で、貴重な地形や地層のある自然の公園のこと。地球活動の記録を保全すること、教育や観光への活用につなげるわけがある。日本ジオパーク委員会が認定する「日本ジオパーク」は、4日の審査終了後、県内の霧島や桜島・錦江湾などを含め39カ所。このうち、阿蘇や島原半島など国連教育科学文化機関（ユネスコ）が支援する「世界ジオパーク」は国内に7カ所ある。

「地域の活性化にもつながっていく。将来的には世界ジオパークを目指したい」と意欲を語った。村定住促進課の大岩根尚さん（地球科学研究専門職員）は「三島村の素材は世界に誇ることができる。ぜひ世界中から観光客に来てもらいたい」と話した。

三島村・鬼界カルデラジオパークは、薩摩半島から南に約50キロ離れた三島村の黒島（約12平方キロ）、硫黄島（約16平方キロ）、竹島（約4平方キロ）と周辺海域からなる。

鬼界カルデラは、北西から南東の長さ約25キロ、北東から南西の長さが約15キロの楕円形の海底火山で、硫黄島と竹島はその外輪にあたる。7300年前の破局噴火は九州の縄文文化を壊滅させた、とされる。

硫黄島には活火山の硫黄岳（703メートル）があり、岩肌には硫黄が噴出。島の周囲の海水は、温泉水の影響で赤や黄、白色に濁る。竹島の竹島港では、島ができた時の火砕流の跡や雁石を観察できる。黒島には鶴岳（622メートル）など500メートル級の山々があり、豊かな植生が残されている。

村は2012年、地域住民を加えたジオパーク推進連絡協議会を設立。ジオガイドの養成や体験ツアーの開催など、ジオパーク認定に向けて活動をしてきた。4月にJGCに認定を申請した。

①日本ジオパークに認定された三島村の硫黄島港。わき出す温泉で海水が赤く染まっている三島村提供  
②日本ジオパーク認定の連絡を受け、職員とともに喜ぶ三島村の大山辰夫村長（右）＝同役場

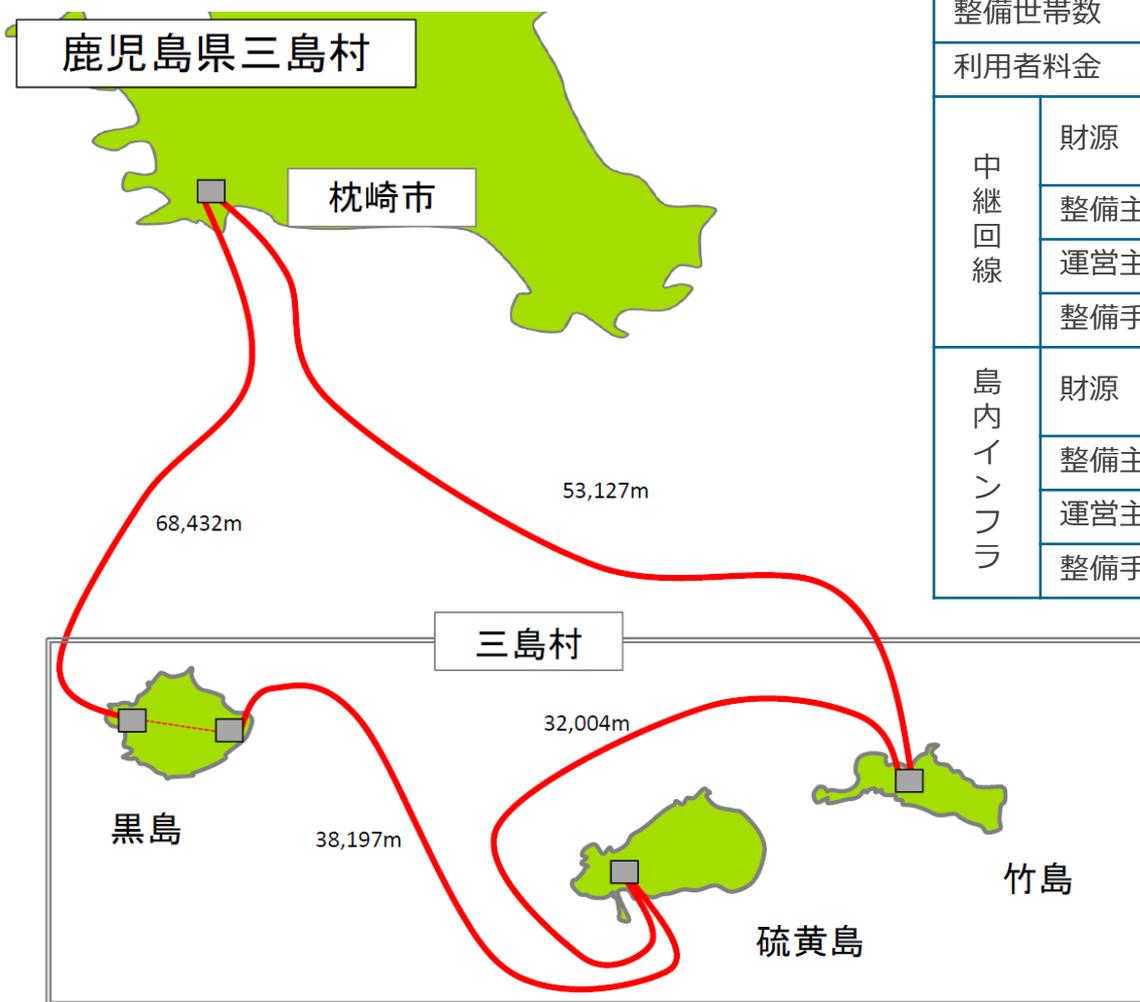
- 2015年10月より黒島と枕崎を結ぶ枕崎航路（月1便）が新規就航



# 村のブロードバンド環境

# 三島村のブロードバンド環境

- 三島村では、平成23年にブロードバンド環境が整備されました。



総事業費		約28.5億円（国100%）
整備世帯数		200世帯
利用者料金		5,000円／月
中継回線	財源	平成21年度補正地域情報通信基盤整備推進交付金
	整備主体	三島村
	運営主体	三島村
	整備手法	海底光ファイバ（約192km）
島内インフラ	財源	平成21年度補正地域情報通信基盤整備推進交付金
	整備主体	三島村
	運営主体	三島村
	整備手法	FTTH

データは調査時点のもの

# 三島村でのブロードバンド環境の利活用

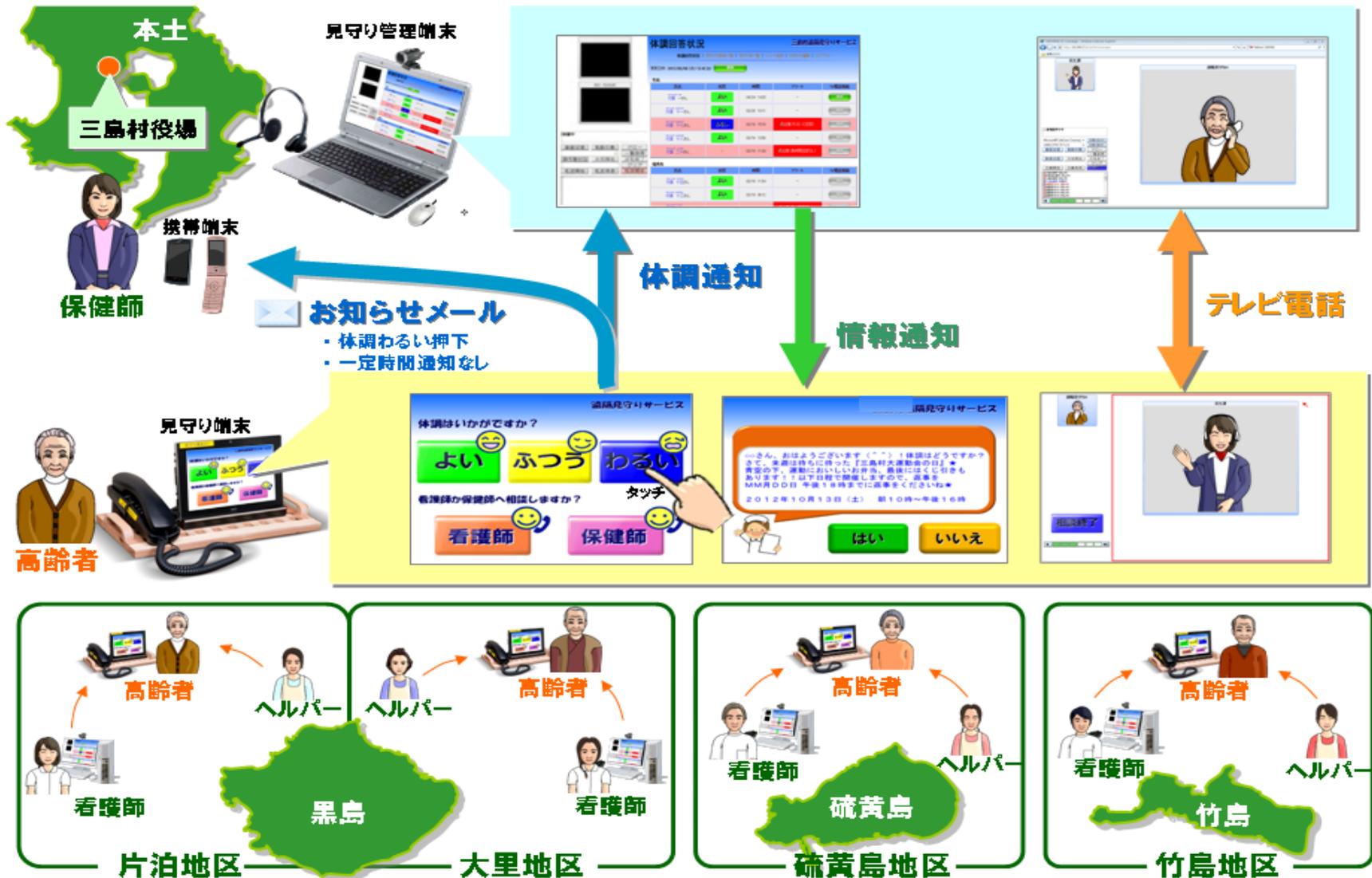
- 三島村ではブロードバンドを活用して高齢者世帯60 世帯に見守り端末を設置し、高齢者見守りをサポートしています。対象世帯数は今後も増やしていく予定です。

人口減少のすすむなか、1人暮らしの高齢者の増加や限られたマンパワーのなかで、いかに効率よく、そして手厚く高齢者を見守ることができるか検討し、高齢者参加型の遠隔見守りシステムを導入



**「家族が増えた！」**  
**「いつでもつながるという安心感がある！」**  
等々の声が聞かれる

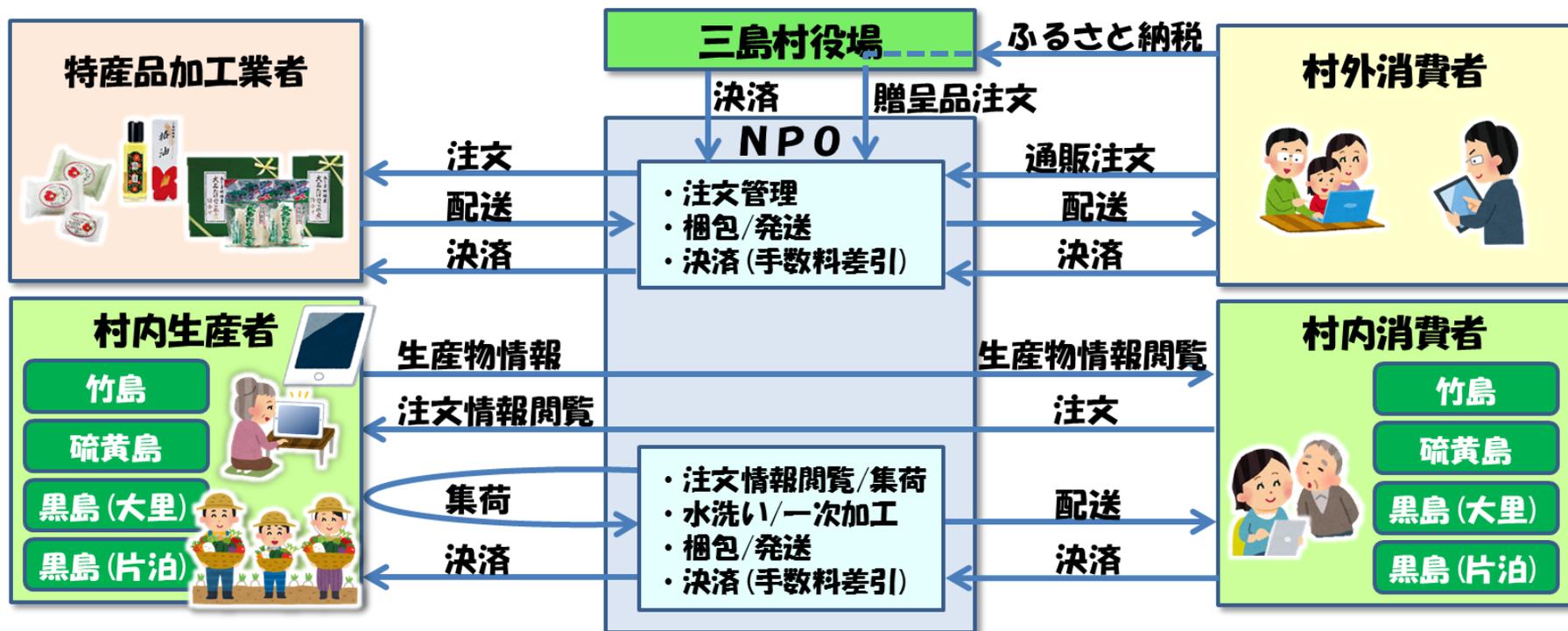
# 三島村でのブロードバンド環境の利活用



# 地産地消システムを 活用した取組み

# 事業概要

<b>実施団体</b>	鹿児島県三島村
<b>実施地域</b>	竹島、硫黄島、黒島
<b>事業概要</b>	沖縄県島尻郡久米島町において導入した地産地消システムの横展開として、ICTを活用し、同じ離島である三島村に導入し、地域資源として活用しきれていない希少な農水産物を村内外に流通させる仕組みを構築する。三島村の人口は久米島の約20分の1と小さく内需に限りがあるため、村外への販売に主軸を置き、島の経済活性化と雇用創出による移住・定住者促進を図る。



## ■ 魚・野菜等の島内・島間の流通

これまでの課題	課題解決後
収穫された小ロットの野菜や魚を島内、島間で流通させる仕組みがないため、近所におすそ分けするのみで収入につながらない。	家庭菜園で収穫され、余った野菜や獲れすぎた魚等を販売することで、特に高齢者の小遣い稼ぎができるようになる。
島ごとに収穫できる農産物は異なるが、これを島間で流通させる仕組みがないため、島の農産物を購入できずに本土の農産物を購入せざるを得ない。	竹島、硫黄島、黒島それぞれで三島村産の新鮮な海産物やおいしい農産物を安く手に入れられるようになる。

## ■ 島間、島外流通の流通コスト

これまでの課題	課題解決後
島間、島外への流通に関して、住民がそれぞれやり取りしているため、それぞれが船による輸送コストを負担している。	食料、特産品等の流通を一元化し、流通を集約することで、流通コストを低減できる。

## ■ 特産品販売の収益の最大化

これまでの課題	課題解決後
特産品（椿油、大名筍）等は原料、1次加工品、2次加工品での販売をしているが、それぞれの管理が一元化されていないため、利益が最大化されていない。	原価管理や販売実績等を一元管理することで、最適セールスマックスを実現し、利益を最大化できる。

# 当面の取扱い商品(農産物)

- 三島村で収穫量が安定して一定量以上確保できる農産物 (食用・加工用)

ツワブキ



長命草



# 当面の取扱い商品(農産物)

- 三島村で収穫量が安定して一定量以上確保できる農産物 (食用・加工用)

大名たけのこ



# 当面の取扱い商品(農産物)

- 三島村で収穫量が安定して一定量以上確保できる農産物（食用・加工用）

## 黒島みかん



## 大里シフォンケーキ



# 当面の取扱い商品(農産物)

- 三島村で収穫量が安定して一定量以上確保できる農産物 (食用・加工用)

黒島さつまいも



焼酎 みしま村



- 三島村で収穫量が安定して一定量以上確保できる農産物 (食用・加工用)

## ヤブツバキ



# 当面の取扱い商品(水産物)

- 三島村で漁獲できる水産物 (食用・加工用)

高級魚アラ



亀の手



# 当面の取扱い商品(加工品)

- 三島村産の農林水産物を使った加工品



三島村産のやぶ椿  
で作った石鱈



大名竹の子の  
水煮



焼酎「みしま村」



三島村産のやぶ椿  
で作った椿油



三島村産のやぶ椿  
で作ったシャンプー・  
リンス



魚のジャーキー  
(開発中)



魚のみそ漬け  
(開発中)

# 椿油関連商品の取引イメージ



## ■ 購入者用の画面

地産地消・地産他消 ポータルサイト

マイアカウント お知らせ カートを見る

農産物 畜産物 加工食品 土産品

南海の小さな島々、三島村。産地島県三島村  
地産地消・地産他消ポータルサイト

お知らせ

2016/03/03 お知らせ [すべて見る](#)

取扱商品

	椿油	800円	出荷可能	94本
	かめりあそーぶ	400円	出荷可能	58個

地産地消・地産他消 ポータルサイト

マイアカウント お知らせ カートを見る

農産物 畜産物 加工食品 土産品

ホーム / 土産品 / 椿油

椿油

在庫配達品

説明

島に繁茂する、やぶ椿の実を搾って作った椿油です。余計な添加物のない良質な椿油は、昔から食用油として、また髪や肌の保湿に愛用されてきました。

800円 在庫あり: 94本

購入するにはログインが必要です

カートに商品を入れるにはログインが必要です。

© 2015 - 三島村地産地消  
お問い合わせ窓口  
電話:050-3713-3404

# 大名筍関連商品の取引イメージ

築地市場等



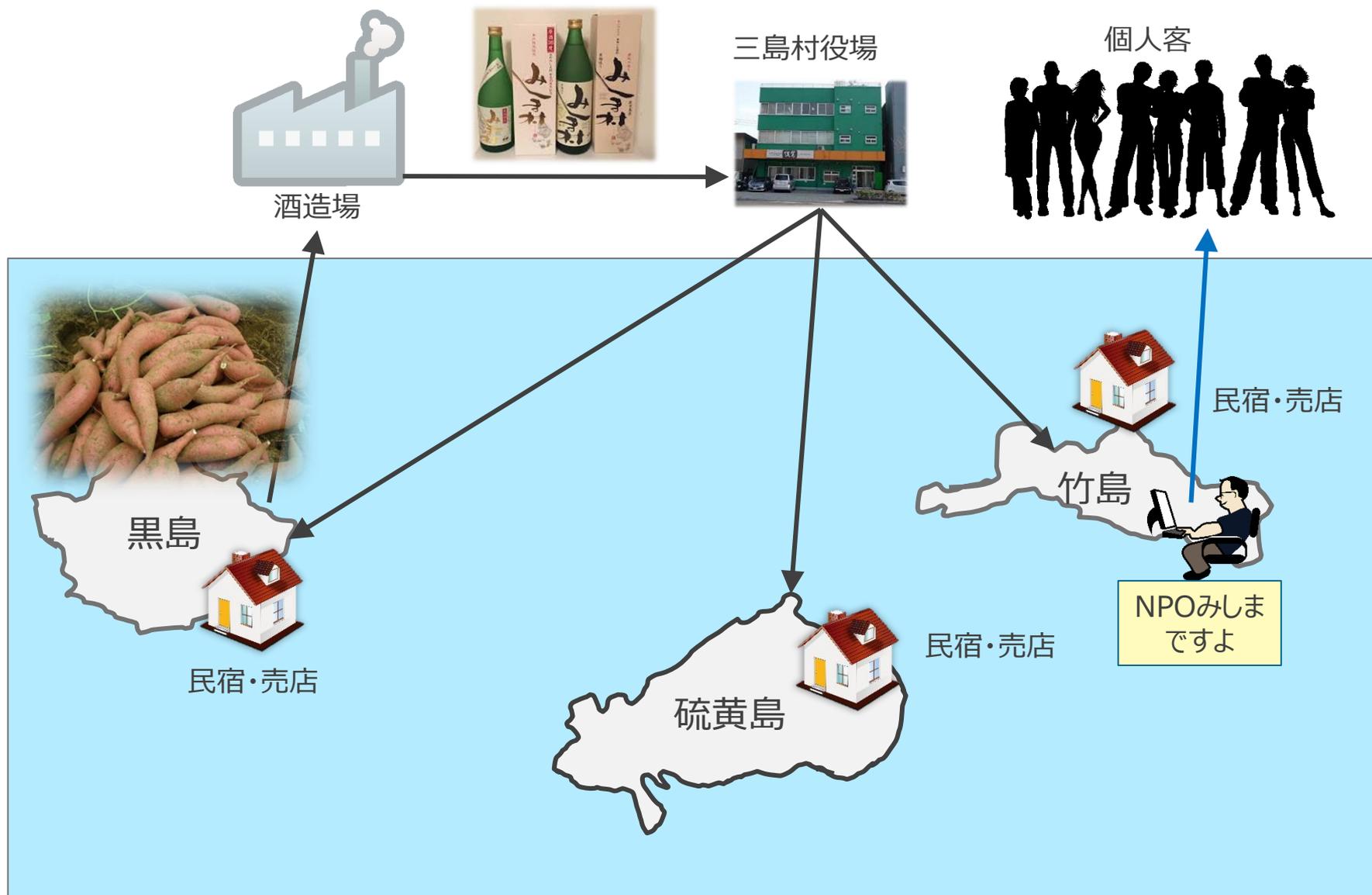
レストラン等



個人客



# 芋・焼酎の取引イメージ



# ツワブキ他の農産物の取引イメージ

鹿児島市場



売店 (鹿児島市内)





## ■ 事業のねらい（地域経済活性化）

- 島内の物流の一元化による需給マッチング・流通コスト削減
- 島の産品の島外販売窓口の一元化によるブランド・販売力強化

## ■ 事業の運営方針（段階的な取り扱い商品、販路の充実化）

STEP1：島内の既存の特産品販売の民営化（三島村役場→NPO法人みしまですよ）

取扱商品：椿の実、椿油、シャンプー・リンス、石鹼

特産品製造元：三島村役場

販売先：島外小売店、島外個人

STEP2：島内の既存の特産品の製造の民営化

取扱商品：椿の実、椿油、シャンプー・リンス、石鹼、大名筍の水煮

特産品製造元：NPO法人みしまですよ

販売先：島外小売店、島外個人

STEP3：島内の生鮮食品の島内物流の一元化

取扱商品：椿の実、椿油、シャンプー・リンス、石鹼、農産物（ツワブキ、大名筍（青果））、魚、弁当等

特産品製造元：NPO法人みしまですよ、島の農家・漁師等

販売先：島内外小売店、島内外個人、島内民宿

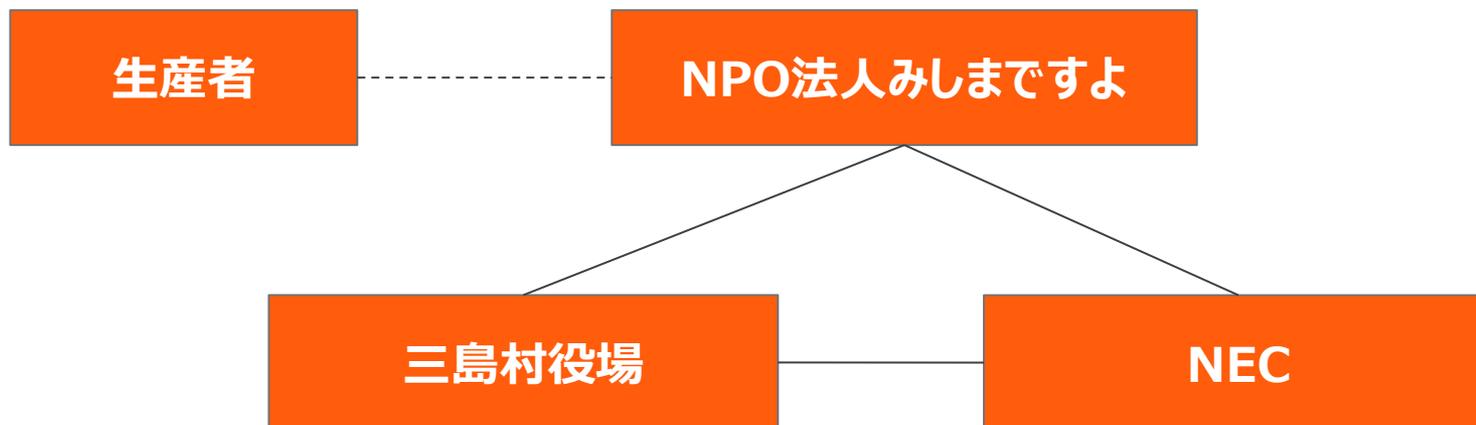
# 事業の進捗状況と販売実績

- 当初の予定では、事業の運営開始が10月の予定であったが、事業開始及びビジネスモデル検討に時間を要したため、販売開始が3月となりました。

商品	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
システム構築	■							
ビジネスモデル検討 (運営者、取扱商品等)	■							
システムデータ 登録					■			
取引先調整							■	
販売開始								■

- 販売実績

- 3月1日～15日での椿油・カメリアソープの販売実績：約18万円



プレイヤー	役割	
NPO法人 みしまですよ	自立的な事業運営 (取り扱い商品及び販路の拡大)	
三島村役場	人的支援	地域おこし協力隊の活用 移住・定住支援による必要な人材の確保
	流通網整備支援	枕崎航路の開拓 関係者との各種調整
	システム支援	地産地消システムの貸与
	情報発信の支援	ふるさと納税制度の活用
NEC	システムサポート	

# 今後の見通し(目標値)

- 5年以内に特産品、島内の野菜・魚の販売総額で1,070万円の達成を目指します。

商品	H26年度実績	目標
椿油	約300万円	360万円
カメラアソープ	約210万円	460万円
カメラシャンプー ・リンス	約50万円	100万円
大名筍	約40万円	100万円
野菜・魚	約0万円	50万円
<b>合計</b>	<b>約600万円</b>	<b>1,070万円</b>